

事業名

環境・景観保全事業（ひまわり園開設及び野山嶽景観保全事業）

事業費（予算額）：600,000 円（まちづくり総合交付金課題解決特別事業：500,000 円）

P

・事業の目的（解決を目指す課題）や見込まれる成果

1. 井野地区を全貌できる野山嶽の荒廃を防ぐ。（又、70年前の姿に戻したい）
2. 1を達成するため、現在ある畑に蕎麦やひまわりを栽培して現状の景観を保つ。
3. 井野地区住民が一同に集まり農作業やひまわり鑑賞など話し合いの場を作る。

D

・事業の概要

1. 現状を維持するため（ひまわり・蕎麦栽培）機械化。種・除草剤・肥料散布器、種まき機、草刈り機、そば種まき機、そば刈り取り機、そば脱穀機、そば砂選別機、製粉機の予備品等を購入。
2. 野山嶽へ来た人数が井野人口の約3倍の数となる。

★現状を維持するため高齢者の負担軽減が必要だった。そこでそば種まき機の開発、そば刈り取り機の開発を行い、そば石貫機を購入した。特に種まき機は会員の負担が大幅に減少できた。ただし、そば刈機開発は失敗したので今後の課題である。石貫機購入により、そば品質向上と手間が減少できた。

★井野高齢者クラブの会員104人の他、ひまわり園、そば栽培を含め350名を超える参加があった。

★ひまわり園内外から好評を得て多くの方に井野へ来ていただいた。野山嶽の登山道の整備を行ったが頂上から周囲が見えず不評だったので今後の課題とする。

C

課題の解決度合（10段階の自己評価）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

								○		
--	--	--	--	--	--	--	--	---	--	--

・上記評価の理由

★目標は9だったが、ほとんどがボランティア作業で一定人数の活動となった。畑を耕す・肥料をまく・草刈・野山嶽頂上道整備作業などが未達だった。

A

事業の継続、発展に向けて今後取り組むこと（評価を10に近づけるために）

1. 休耕畑の肥料施行機械化の改善
2. そば刈り取り方法の改善
3. そば脱穀機の改善
4. ひまわり種採取方法
5. 野山嶽登山道の整備改善
6. 野山嶽頂上付近の樹木伐採

